

本学部卒業生による保健師交流会の活動紹介

名古屋市立大学看護学部

尾崎 伊都子 門間 晶子

田中 昭子 肥後 恵美子

平成19年度から行っている保健師交流会の活動を紹介します。

1. 保健師交流会の概要

1) 目的

保健師交流会の目的は、保健師として働いている本学部卒業生が交流や情報交換、保健師活動に関する学習を

2) メンバー

第1期生から第7期生までの卒業生で保健師として働いており、H21年7月の時点で教員が把握し、交流会への参加を希望した者42名である。メンバーの勤務先を表1に示す。

表1 交流会 卒業生の勤務先 (H21年7月現在)

	勤 務 先	人数
愛知県内自治体	愛知県知多保健所	2名
	名古屋市天白保健所	1名
	名古屋市熱田保健所	1名
	名古屋市北保健所	1名
	名古屋市東保健所	1名
	岡崎市保健所	1名
	豊田市役所(福祉保健部)	2名
	豊橋市保健所	1名
	春日井市役所 (健康福祉部 健康推進課)	1名
	江南市	1名
	弥富市役所 (健康増進課)	1名
	長久手町 保健センター	2名
	小牧市役所 (介護保険課 認定給付係)	1名
	武豊町 (子育て支援課)	1名
	西尾市	1名
	常滑市 保健センター	1名
	瀬戸市役所 (国保年金課)	1名
	瀬戸市 保健センター	1名
	北名古屋市役所	1名
	知多市 保健センター	1名
半田市 保健センター	1名	
一宮市 高年福祉課	1名	
愛知県外自治体	静岡市 (健康づくり推進課 清水保健福祉センター)	1名
	湖西市役所	1名
	岐阜市 中市民健康センター (日光ふれあい保健センター)	1名
	岐阜市 北市民健康センター (西部ふれあい保健センター)	1名
	岐阜市 北市民健康センター (北東部ふれあい保健センター)	1名
	養老町	1名
	茨城県	1名
	川崎市	1名
事業所	中部電力株式会社 名古屋支店	2名
	トヨタ自動車株式会社 安全健康推進部	1名
	三菱電機名古屋製作所	1名
健診機関	東京海上日動メディカルサービス株式会社	1名
	名古屋雄生健康管理センター	1名
	ヨハナ総合病院健診センター	1名
福祉機関	安城市社会福祉協議会	1名
教育機関	国際医療福祉大学 小田原保健医療学部	1名
	計	42名



図1 保健師交流会

3) 活動内容

- 交流や情報交換、学習のための会合（年1回）の開催
- メーリングリストによる情報交換や情報提供

2. 保健師交流会の発足の経緯

保健師となった卒業生は時折、教員を訪ねて来て仕事のことを話してくれるが、新人としての悩みや職場の人間関係など職業人としての課題、多問題家族への対応や保健事業の実施計画立案など保健師活動に関する課題など、様々な課題を感じながら仕事に取り組んでいることがわかる。そのため、卒業生同士の意見交換や学習の場をつくりたいと考えてきた。平成18年度には教員が把握している保健師として働く卒業生は17名となり、卒業生同士で交流し情報交換する場があれば、悩みの解決や仕事へのエネルギーにつながるのではないかと考え、保健師交流会を発足させ、平成19年7月に第1回の会合を行うこととした。第1回会合の開催に向けて、平成14～17年度までの卒業生17名と、平成18年度3月に卒業し平成19年度から保健師としての就職が内定している者5名に参加を呼びかけ、活動を始めた。

3. 保健師交流会の活動状況

1) 会合の開催状況

平成19～21年度までの交流会の会合の実施状況を表2に、第3回会合の様子を図1に示す。日程は卒業生の意見から、年度始め・年度末と行政における予算要求・議会への対応の時期を避けて、7月の土曜日に開催するこ

ととしている。第1回・第2回はグループごとに分かれて交流や意見交換を行うことを主に行った。第3回は卒業生からの意見に基づき、事前に卒業生から募集した事例をもとにグループで解決策について検討し、意見交換を行った。参加者数は教員を含めて23～26名であった。現教員の他に、平成12～16年度まで本学部地域看護学領域に在職された山口洋子教授（元）にも参加していただき、助言や激励をいただいている。

2) 交流会の案内とメーリングリストの作成

交流会についての案内は、卒業時点で保健師として就職が決まっている学生や、卒業後に保健師の就職相談に訪れ、その後保健師として就職した卒業生に紹介している。さらに、交流会に参加している卒業生を通じて保健師として働いている卒業生に交流会の存在を伝えてもらい、連絡をとっている。

平成20年よりメーリングリストを作成し、連絡や情報交換に活用している。

3) 本学部ホームページでの紹介

卒業生に広く保健師交流会の存在を知ってもらうため、平成21年度より本学部ホームページにおいて保健師交流会の内容や会合の開催予定などを紹介している。

4. 今後の活動

交流会の会合における卒業生へのアンケートによる感想や意見をみると、卒業生同士の交流が他の市町村や産業における保健師活動を知る機会となっており、また仕事への励みになっていると思われる、交流会の目的を果たしていると評価できる。第3回目には事前に卒業生から募集した事例についての検討を行ったが、実務経験年数が長い者がグループワークをリードし、有意義な意見交換ができていたと思われる。終了後のアンケートでは次年度の事例検討の方法に関する意見が出され、気軽に話ができる交流だけではなく学習も行っていきたいという要望が確認された。来年度以降も保健師活動の実践活動に役立つテーマとともに研究成果の報告など大学という場を活かした内容についても盛り込んでいきたい。

また、今後は交流会の運営に対して卒業生に主体的に関わっていただくことも必要だと考えており、来年度から運営の一部に関わってもらうことを検討していきたい。

表2 交流会の会合の実施状況

日 時	プログラム	参加者数	意見・感想 (自由記載アンケートより抜粋)
第1回 H19. 7.21(土) 15:00~17:00	1. 開会の挨拶 2. 自己紹介 3. グループ別交流 1) 意見交換 (保健師になったきっかけ、現在の担当業務、現在困っていることなど) 2) 全体で共有したい保健活動 (保健事業の企画から評価、多問題・対応困難なケースへの支援など) 4. 全体交流 5. 次回の日程・内容について 6. 終わりの挨拶	19	<p>【感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師として働く卒業生と意見交換ができてよかった ・他市や産業保健など様々な職場の話が聞けて楽しかった、参考になった ・先生や卒業生と話をして元気をもらえた、励まされた <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間が短いのでもう少し長い方がよい ・困難なケースへの対応方法についてケース検討したい ・ざっくりばらんに話ができる交流会は続けて欲しいが、勉強会の開催もあるとよい ・同じような業務やトピック別 (特定健診、母子保健、メンタルなど) 意見交換できるとよい ・事前アンケートで困っていることや相談したいことを上げてテーマを決めて話し合いたい ・交流会を自分たちで運営していいとよい
第2回 H20. 7.19(土) 15:00~17:00	1. 開会の挨拶 2. 自己紹介 3. グループ別交流 1) 意見交換 (保健師になったきっかけ、現在の担当業務、現在困っていることなど) 2) 全体で共有したい保健活動 (保健事業の企画から評価、多問題・対応困難なケースへの支援など) 4. 教員からのメッセージ 5. 次回の日程・内容について 6. 終わりの挨拶	20	<p>【感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師の仕事のおもしろさと難しさを感じて勉強になり楽しかった ・他の市町の保健師活動や自分が現在関わっていない保健師活動が聞けてよかった ・大変なことがあっても年1回仲間に話を聞いてもらえらえる機会があると心強い ・新たな気持ちで仕事を頑張ろうと思う ・他の市町村や産業保健の保健師活動を聞くことができて有意義だった <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例検討は意見交換できても勉強になった ・グループ分けは様々な職場、年代の者が混ざっているのがよい。複数のテーマ別にグループを分けるのもよい。 ・他市の事例検討では産業保健活動について聞きたい ・事例検討ではPower Point資料が手元にあるとよい ・制度や健康教育の方法などについて講義してもらいたい (もう一度学びたい) ・次回年度ごとに卒業生が準備していいけるとよい ・次回2~3回開催して欲しい
第3回 H21. 7.21(土) 13:30~16:40	1. 開会の挨拶 2. 自己紹介 3. 事例検討 (グループワーク) 1) 事例A (母子健康手帳交付における住民サービス向上と効率性) 2) 事例B (主体的な活動に発展しないボランティア活動グループへの支援) 4. 自由討議 (普段の保健師活動で気になっていること) 5. 教員からのメッセージ 6. 次回の日程・内容について 7. 終わりの挨拶	20	<p>【感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例A、事例Bの具体的な活動内容が興味深かった ・事例Aの母子健康手帳交付の取り組みが印象に残った ・事例Bのボランティア活動の課題が明確で良かった ・自由討議で各々の悩みや疑問が解消された <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例A、事例Bの具体的な活動内容が興味深かった ・事例Aの母子健康手帳交付の取り組みが印象に残った ・事例Bのボランティア活動の課題が明確で良かった ・自由討議で各々の悩みや疑問が解消された